

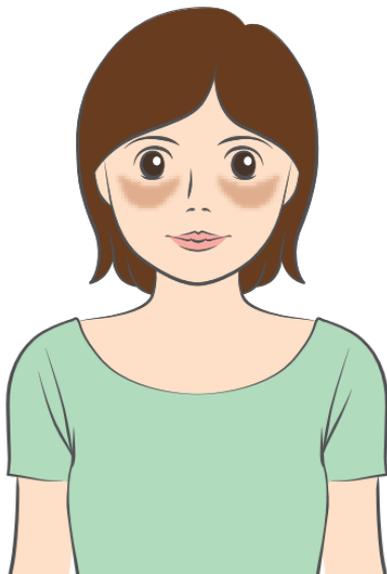
肝斑と診断されました 治療法は？

内服薬の処方やレーザー治療を行います

立川皮膚科クリニック

www.tachikawa-derma.com

肝斑の皮膚症状



30代以降の女性に多くみられる目の下のシミに「肝斑」があります。この症状について「立川皮膚科クリニック」の伊東秀記院長に聞きました。

「肝斑は目の下、頬、口の周辺などに広がり、左右対称にできる傾向があります。境界がぼやけた薄茶色の広がり、見た目では他のシミやそばかすと間違えやすく特にADM（後天性真皮メラノサイトーシス）との判別が難しいのが特徴です」

原因は何ですか？
「生理前や妊娠中に色が濃くなることがあり、女性ホルモンバランスの崩れが原因といわれています。」

治療法は？
「肝斑には、メラニン生成を抑制するトラネキサム酸、ヒタミシンの内服薬やハイドロキノール外用薬を処方します。レーザー治療（自由診療・標準費用1万6000円）もあります」

治療上の注意点は？
「ほかのシミと混在しているときは肝斑の治療を優先するのがポイントです。」

また、肝斑治療を3カ月ほど続けても効果が表れない場合は、診断の見直しが必要な場合もあります。皮膚科の医師に相談を」

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業、東京慈恵会医科大学皮膚科非常勤講師



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30～ 13:30	○	○	○	○	12:30まで 受け付け	○
15:00～ 19:30	○	○	○	○	18:30まで 受け付け	17:30まで 受け付け

問い合わせ
☎042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分

2015年9月19日付 「リビング多摩」に掲載されました